



わくわく学習部会

令和3年9月22日発行第4号



まちたんけん!



3年生は、総合的な学習の時間(はくざんっ子)で、「はくざんのきらりを見つけよう!」をテーマに校区の良さを発見する活動をしています。7月には、願勝寺・専修寺・玉井哲郎さんを訪問し、施設の歴史やトロの植木剪定にまつわる話など興味深い話をお聞きすることができました。また、社会科の学習で「農家の仕事」を学習し、苺ファーム森本・真鍋苺農園・佐竹苺農園を見学させていただき、苺作りについてのお話をお聞きしました。自分たちの校区には、施設・人・産業など、さまざまな「きらり」があることを再確認する地域探検になりました。



いちごハウスの中は、とてもあついののに、いつもかんばって育っているのかよく分かりました。一番おどろいたのはランナーというなえを植えて、いちごが出来る事でした。ハウスの中に入り、いちご作りの事がよく分かりました。

この前は見学させていただきありがとうございました。わたしはトロを近くで見られてうれしかったです。近くで見るととても大きくていて作っているの聞いておどろきました。5年もかいて作るとはびっくりです。これからも何か観たりといつもおもしろいと思います。

この前は見学させていただきありがとうございました。一を聞いて、1900年前のこと、ユネゴホホネ地名のことが分かりました。はじめて聞いたことばかりでした。船の本当の名前は「はくざん」といって、届はずばらしいと、言うことが、分かりました。これからも、かみしょうを守りつづけてください。

わくわく学習部会

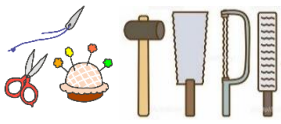


図書整理・修理ボランティア



図書整理・修理ボランティアでは、毎月1回図書の整理・修理をしています。人気のある本は、傷みややすく汚れたりするのですが、多くのサポーターさんたちが一冊一冊丁寧に直してくれています。子どもたちには多くの本を読んで心豊かになってほしいと願いを込めて作業をしています。





ものづくり体験



「技能士の魅力を伝える授業」に6年生が参加しました。タイル張り、石材施工、建築板金、洋裁の4つの職種に分かれて取り組みました。まず、技能士さんたちによる説明を聞いてから、それぞれタイルのコースター、庵治石の文鎮、銅板プレート、布マスクを作成しました。香川の匠の技を実際に見たり聞いたりする貴重な時間となりました。この体験を通して、子どもたちはものづくりの素晴らしさや楽しさを知り、伝統文化を受け継ぐ担い手として真剣な態度で制作に取り組みました。



今回は板金づくりを教えていただきありがとうございました。今回の授業でいろいろなことを知りました。例えは体育館の屋根は板金でできていることは知らなかったのでびっくりしました。板金づくりで一番大変だったのは木べらで後ろからおす所が大変でした。でも分かりやすく教えてくれたので上手にできました。家族にも板金のことを教えてあげたいです。ありがとうございました。



今回は、洋裁をさせていただきありがとうございました。家庭科では習わなかった縫い方を教えていただきとても勉強になりました。その中で特に心に残っているのが、まつりぬいです。おもてにぬい目がでないようにするぬい方があることをはじめて知りました。お、和裁と洋裁のちがいは和裁は手ぬいで洋裁はミシンのことが分かりました。家でもコースターを作りたいと思いました。



ぼくははじめ石をとぐのは簡単だと思っていました。しかし力もいるし何回か石をとぐための道具をかえてみかかないといけなかったのが大変でした。でもそんな苦勞をして作った文ちゃんは、ひかひかとてもきれいでした。ぼくは習字を習っているのでも今度練習のときに使ってみたいと思います。



わたしは、初めてコースター作りをしました。言葉を聞いた時、うまくできるかな不安だったけれども、発見をたくさん教えてくれて完成することかできました。コースター作りをして、とくにむずかしかったことは、タイルを上手にはめることです。たいへんな作業だったけれども、とても楽しくコースターを作ることかできました。作ったコースターは家でスエードに使ってみたいと思います。

にこにこ生活部会



ベルマーク集計ボランティア

ベルマーク集計ボランティアでは、月1回程度集計などの活動をしています。家庭で集計されているサポーターさんもいます。ベルマークは1点が1円になり、子どもたちに必要なものと交換しています。ポイントの高い使用済みインクカートリッジの回収もありがとうございます。今回は、「スミフル」が2倍キャンペーンをしていますので、回収のご協力をお願いいたします。(10/13集計まで)

